

R6 前期学校評価

ア 児童の状況	自己評価Aと学校関係者評価の区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
		良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
		おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
		やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
		努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自律的な生活

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
明るくあいさつをし、規律ある落ち着いた生活をしながら、主体性や責任感を育もうとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	・あいさつについては縦割り活動が効果的に行われており、中学校まで取組がつながっている。更に小中の連携を強めて段階的にレベルアップを図っていくようにしたい。 ・あいさつは社会人になっても大事なことで、更に習慣付けを図る取り組みをし、将来につながるあいさつ、校外におけるあいさつができる児童の育成をお願いしたい。 ・名前を呼んでもなかなか返事をしない児童やあいさつを返さない児童、友達を呼び捨てにする児童がみられる。職員が積極的な姿勢を示し、改善を図ってほしい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】	◆運営委員によるあいさつの呼びかけや月1回の学級ごとのあいさつ運動、小中合同でのあいさつ運動等を通して、あいさつを大事にしようとする意識が身に付いている。今後は、「いつでもどこでも誰にでも」元気にあいさつできるように、あいさつの習慣付けを図る取り組みをしていきたい。 ◆場に応じた正しい言葉遣いができるように、場面を捉えて迅速に対応していきたい。また、児童の温かい言葉掛けなどを称揚し、学校全T内で日常化されるようにしていく。 ◆児童数減少により、従来の委員会活動、正課クラブの活動の継続が困難になってきたため、委員会を統合したり、クラブ活動をローテーション化したりするようにした。その結果(1つの委員会・クラブあたりの所属人数が増えたことにより)話し合い活動が活発になったり、活動の幅が広がったりした。今後は更に児童の自主的・自律的な活動を促せるように、個々の役割に専門性をもたせるなどしていきたい。		
	【後期→(次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1) 元気なあいさつと場に応じた言葉遣い	「あいさつ運動」(校内、小中合同、家庭への呼びかけ あいさつ+α あいさつプラン 三カ条) 「元気なあいさつと返事」の日常指導	3	
2 集団生活・集団活動	(2) 集団の一員としての自覚	自主性・主体性を促す委員会や係活動 活気ある集会活動 児童数減少に伴う委員会の再編	3	

評価点数について

4＝よい がんばっている あてはまる 楽しい	3＝だいたいよい ややあてはまる まあまあ楽しい
2＝やや不十分 あまりあてはまらない あまり楽しくない	1＝不十分 がんばり不足 まったくあてはまらない 楽しくない 0＝わからない

【評価指標1】基本的な生活習慣

【評価指標2】集団生活・集団活動

【1・2のデータ】 ※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

	質問事項	4	3	2	1	0
児童	【評価指標1】 学校、おうちや地いきで、進んで元気よくあいさつや返事をしたり、相手にあった言葉づかいをしたりしていますか。	54	36	7	2	2
	【評価指標2】 たてわりはん清掃や委員会、学級の係では、責任をもって自分の仕事をしていますか。	71	27	2	0	0

	質問事項	4	3	2	1	0
保護者	【評価指標1】 児童会が中心となって行っているあいさつ運動や学校でのあいさつ・返事の指導は、お子さんの家庭・地域でのあいさつ、場に応じた返事や言葉遣いにつながっていると思いますか。	50	48	0	0	2
	【評価指標2】 お子さんは、学校行事や縦割り班活動、異学年との交流、学級活動や係・委員会活動等によって、責任感や主体性が育ってきていると思いますか。	37	54	4	2	2

	質問事項	4	3	2	1	0
職員	【評価指標1】 「あいさつ運動」(校内、小中合同、家庭への呼びかけ あいさつ+α あいさつプラン 三カ条) 「元気なあいさつと返事」の日常指導	8	69	23	0	0
	【評価指標2】 自主性・主体性を促す委員会や係活動 活気ある集会活動 児童数減少に伴う委員会の再編	8	85	8	0	0

ア 児童の状況

Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
互いに認め合い高め合いながら、夢に向かって努力する豊かな人間性を育もうとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	・ 応援ボードや花ボラのメッセージカードのプレゼントは地域の方々に元気を与え、子どもたちの心を耕す素晴らしい活動であるので、今後も続けてほしい。 ・ 児童のアンケートの結果からチャレンジ精神が育まれていることも見て取れる。今後も、目標に向かってあきらめずに頑張る経験をたくさんさせてほしい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】	◆元気応援ボードのプレゼント活動に今年度も継続して取り組んでいる。今年度は3年生から活動に参加することとし、1学期は3年生・6年生が計6施設にプレゼントした。学年全員で複数の施設を訪問することで、自分たちの訪問を心待ちにしてくれている方がたくさんいることや、自分たちの活動で地域の方を元気づけることができていることに気付くことができた。つくし苑・ケアハウスほうおうには収穫した枝豆も一緒に届けている。地域の一員として役に立ちたいという思いを今後も育てていきたい。2学期は4年生・5年生が実施する予定。 ◆子どもたちは成章八か条をもとに学期ごとの目標を立て、「学びを深める」「心をみがく」「体をきたえる」「地域と関わる」姿を目指して生活している。学期末には自己の目標や三哲がんばり賞の振り返りを行うことで自己の変容や成長を感じることができるようになっており、校長から授与される三哲がんばり賞も子どもたちの大きな自信につながっている。職員からは学期末ではなく、もう少し短いスパンで振り返り活動を行いたいという意見があり、2学期からは目標カードの形式を変えることで月ごとに自分の達成状況を確認したり、目標の見直しを行ったりすることができるようにしていきたい。		
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 広く豊かな心と自立心	(3) 思いやりの心の育成	道徳の時間を中心とした道徳教育の推進 地域の方々とふれあい、保・小・中の連携活動	3	
	(4) 互いを認め合い、自己肯定感を高める活動	学級活動の充実 自己目標の設定と振り返り 個人目標の掲示 一人一人の活躍の場やよさを認める学校行事や各種集会の設定	3	

【評価指標3】広く豊かな心と自立心

【3のデータ】 ※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

質問事項		4	3	2	1	0
児童	【評価指標3】 友だちの気持ちを考えて、話したり行動したりしていますか。また、ちがう学年の友だちともなかよく活動していますか。	57	29	9	2	4
	【評価指標3】 道徳の時間の学習では、自分の生活を振り返ったり、友だちと話し合って自分の考えを深めたりしていますか。	50	39	7	4	0
	【評価指標3】 めあてにむかってがんばったり、最後まであきらめずにがんばったりして、チャレンジしていますか。	71	25	4	0	0
	【評価指標3】 話し合いを重視した道徳の学習、地域の方々と一緒に活動、地域施設への元気応援ボード等のプレゼント、花ボランティア等は、思いやりの心の育成につながっていると思いますか。	54	46	0	0	0
	【評価指標3】 お子さんは、学習や生活、スポ少など何かに挑戦したり自分なりに目標を決めて取り組んだりしていると思いますか。	41	52	7	0	0
	【評価指標3】 道徳の時間を中心とした道徳教育の推進 地域の方々とふれあい、保・小・中の連携活動	8	92	0	0	0
保護者	【評価指標3】 話し合いを重視した道徳の学習、地域の方々と一緒に活動、地域施設への元気応援ボード等のプレゼント、花ボランティア等は、思いやりの心の育成につながっていると思いますか。	54	46	0	0	0
	【評価指標3】 お子さんは、学習や生活、スポ少など何かに挑戦したり自分なりに目標を決めて取り組んだりしていると思いますか。	41	52	7	0	0
質問事項		4	3	2	1	0
職員	【評価指標3】 道徳の時間を中心とした道徳教育の推進 地域の方々とふれあい、保・小・中の連携活動	8	92	0	0	0
	【評価指標3】 学級活動の充実 自己目標の設定と振り返り 個人目標の提示 一人一人の活動の場やよさを認める学校行事や各種集会の設定	8	77	15	0	0

ア 児童の状況

Ⅲ 基礎学力

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
基本的な学習習慣を身に付け、意欲的に学習に取り組む学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	・子どもたちが自ら学習を進めて学び合っている様子を授業参観で見ることができ、授業改善が進んでいることがうかがえる。 ・語彙を増やしたり表現力を身に付けたり、言葉を広げていくための活動を頑張っている。 ・読書については、アンケート結果からも、図書室の本の活用と読書量が増えるなど、習慣づけられていることが分かり素晴らしい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期(→年度)】 ◆「学び合いカード」を使い、「話し方・聞き方」の基礎的・基本的なことを確認しながら取り組んできて、学び合いにつながるハンドサインや反応ワードが増えてきた。さらに「比べながら聞く」「比べて話す」など付けたい力を意識させながら力を高めていきたい。そして、いろいろな教科で使うことができるように、言葉を広げていくことを大事なことで確認し、取り組んでいきたい。 ◆児童は、学級文庫を活用して昼読書や朝読書の時間にじっくり読書に取り組んでいる。読み聞かせは、昼の時間帯に変えるなど工夫しながら行っている。1学期の「飛び出す図書館司書」の読み聞かせと読書指導は、子どもたちへの興味・関心を高めることにつながり、「読書強調週間」は、図書室の本の活用と読書量の増加につなげることができた。秋の読書強調月間では家庭学習強調週間とも合わせて、「いろいろな種別の本を読む」「家読のすすめ」にも取り組んでいきたい。			
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 学習への取組	(5) 基本的な学習習慣の定着	「学習の約束」の徹底 「学び合いカード」を使った話し方・聞き方の指導 ノート指導 ノート展	3	
	(6) 基礎学力の定着と向上	みんなで課題解決を図るチャレンジタイム 学習リーダーの活用と推進 単元評価問題の活用 計画的な朝学習・風の子テストの実施 家庭学習の充実	3	
	(7) 読書活動の充実	昼読書・読み聞かせによる読書習慣の形成(市立図書館司書派遣事業の活用) 図書室・学級文庫の整備 読書強調月間の選定	4	

【評価指標4】学習への取組

【4のデータ】 ※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

質問事項		4	3	2	1	0
児童	【評価指標4】 先生は、勉強がよくわかるように教えてくださいませんか。	82	14	0	2	2
	【評価指標4】 学校での勉強、おうちでの勉強、風の子テストの勉強をすることで、自分の力がついてきたと思いますか。	66	23	4	2	5
	【評価指標4】 読書タイムやじっくり読書で本を読んだり、読み聞かせをしてもらったりするのは楽しいですか。	77	16	5	0	2

質問事項		4	3	2	1	0
保護者	【評価指標4】 お子さんは、授業の内容がよく分かると言っていますか。	28	54	11	0	7
	【評価指標4】 学校では、風の子テスト、毎日の朝学習、家庭学習等を通して、基礎・基本が身に付くように指導していると思いますか。	43	48	4	0	4
	【評価指標4】 読書タイムや図書委員会の活動・読み聞かせ、図書館司書を招いての授業などはお子さんの読書への関心を高めたり楽しさを味わわせたりする上で役立っていると思いますか。	43	48	2	0	7

質問事項		4	3	2	1	0
職員	【評価指標4】 「学習の約束」の徹底 「学び合いカード」を使った話し方・聞き方の指導 ノート指導 ノート展	0	77	23	0	0
	【評価指標4】 みんなで課題解決を図るチャレンジタイム 学習リーダーの活用と推進 単元評価問題の活用 計画的な朝学習・風の子テストの実施 家庭学習の充実	23	77	0	0	0
	【評価指標4】 昼読書・読み聞かせによる読書習慣の形成(市立図書館司書派遣事業の活用) 図書室・学級文庫の整備 読書強調月間の選定	38	77	0	0	0

##

ア 児童の状況

Ⅳ 健康と体力

児童生徒の状況		自己評価A 学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント
食や健康、体力への関心をもち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	・メディアコントロールは家庭の教育力が不可欠である。アンケート結果から、メディアコントロールをして生活習慣を改善することや、望ましい食習慣を身に付けさせるための子どもや家庭への働きかけの効果がでてきていることがうかがえる。また、子どもたちの会話からも、勉強の後にやるとか、終了時刻をあらかじめ決めるとか、メディアコントロールの意識が浸透していることが分かる。 ・体力づくりに子どもたちが意欲的に取り組んでいることがアンケートから読み取れる。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期(→年度)】 ◆健康的なライフスタイルの形成(特にメディアコントロール)を引き続き課題として取り組んでいきたい。メディアコントロール週間で意識して頑張る児童が増え、掲示物にも興味をもっていた。今後も続けて、児童への意識付けをしていきたい。 ◆給食指導では、あいさつ広場の掲示や放送などで情報を提供すること続け、食への関心を高めていきたい。日々の給食指導では、苦手な食材・メニューにも挑戦できるように、献立の工夫や教師の声かけをしていきたい。 ◆体力づくりでは、業間休みの時間や授業の導入時間を活用して、安全面に配慮しながら遊びや簡単な運動を取り入れることで体力の向上を目指していきたい。			
	【後期(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 健康的な生活習慣・食育	(8) 健康的なライフスタイルの形成	生活習慣とメディアに関する実態調査 家庭への啓発(保健だより・給食だより) メディアコントロール週間の実施(メディアコントロールの意識付け) 養護教諭・主任学校栄養士による保健・安全及び食についての授業	3	
	(9) 望ましい食習慣の形成	食生活アンケートを活用した食育指導 よくかんで食べる意識付け(かみかみ週間) 食育に関する全校掲示(地場産物や和食等の紹介)	3	
6 体力づくり	(10) 継続的な体力づくり	マラソン運動やなわとび運動などの体力づくり運動の実施 マラソン記録会の実施 新体力テストの実施	3	

【評価指標5】健康的な生活習慣・食育

【評価指標6】体力づくり

【5・6のデータ】 ※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

	質問事項	4	3	2	1	0
児童	【評価指標5】 早ね・早おき・朝ごはん・約束を守ったゲームなど、きそく正しい生活をしていますか。	34	43	14	9	0
	【評価指標6】 体育の時間に運動したり、なわとび運動をしたり、歯がきや手洗いの学習をしたりしたことで、体力がついてきたり健康な生活ができていたりと思いますか。	59	30	5	4	2

	質問事項	4	3	2	1	0
保護者	【評価指標5】 保健だよりや給食だよりは、お子さんの家庭での健康的な生活習慣(早寝早起き・食事のとり方・メディアコントロールなど)の形成に役立つ情報になっていると思いますか。	37	50	9	0	4
	【評価指標6】 マラソンタイムの実施、歯磨き指導や手洗い指導、体調チェックカード、給食かみかみ週間などの取組は、お子さんの体力づくりや健康的な生活につながっていると思いますか。	48	52	0	0	0

	質問事項	4	3	2	1	0
職員	【評価指標5】 生活習慣とメディアに関する実態調査 家庭への啓発(保健だより・給食だより) メディアコントロール週間の実施(メディアコントロールの意識付け) 養護教諭・主任学校栄養士による保健・安全及び食についての授業	23	69	8	0	0
	【評価指標5】 食生活アンケートを活用した食育指導 よくかんで食べる意識付け(かみかみ週間) 食育に関する全校掲示(地場産物や和食等の紹介)	38	62	0	0	0
	【評価指標6】 マラソン運動やなわとび運動などの体力づくり運動の実施 マラソン記録会の実施 新体力テストの実施	8	92	0	0	0

イ 学校運営の状況

V 安全・安心

学校の状態		自己評価A 学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント
児童が互いに認め合い、安心して学校生活を送ることができるようにしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	・ 外部の専門機関や地域の方々の協力を得ながら、更に活動を充実させてほしい。 ・ 未然防止や早期発見に繋げることができたことは、とても良いと思われる。地域や関係機関と連携した安全指導は、役立っているので児童の評価が高い。これからの季節は、熊対策を含めた対応をお願いしたい。 ・ 少数ではあるが、評価指標7の2～0と考える保護者がいることを、今後の対応に生かしてほしい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期(一年度)】 ◆ぬくもりアンケートやいじめアンケート、全児童との面談の実施等により、児童の学習や日常生活の困り感に迅速に対応したり、未然防止や早期発見につながることができた。今後も児童の様子に目配り心配りを続けていきたい。 ◆あらゆる場面・状況を考慮した安全指導を今後も続けていきたい。そのため、場面や目的に応じた避難訓練や集会での具体的な指導、生徒指導だよりによる児童や保護者への周知等を行ってきたい。 ◆わらべ見守り隊、子ども110番の家(7月更新)は、コロナ禍により中断していた顔合わせ会を再開するなどして、より学校との結びつきを強めることでその機能を強化していきたい。			
	【後期→(次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
7 児童理解と組織的な生徒指導	(11) 児童理解と個に応じた支援	児童との面談の実施 ぬくもりカード・いじめアンケートの実施 保護者との面談、連携 職員による児童を語る会 生徒指導だよりの定期的な発行	3	
8 安全教育と安全管理	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	安全マップの活用 交通安全教室 避難訓練(地震・火災 不審者)の実施 登下校時における安全指導 わらべ見守り隊活動 情報モラルの指導 連絡メールを活用した安全に関わる連絡 子ども110番の家更新	3	

【評価指標7】児童理解と組織的な生徒指導

【評価指標8】安全教育と安全管理

【7・8のデータ】 ※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

	質問事項	4	3	2	1	0
児童	【評価指標7】 ぬくもりカード、いじめアンケート、先生との相談などによって、安心して学校で過ごすことができますか。	75	16	7	0	2
	【評価指標8】 交通安全教室や避難訓練、わらべ見守りたい活動などは自分の命を守るのに役立っていますか。	86	14	0	0	0

	質問事項	4	3	2	1	0
保護者	【評価指標7】 連絡帳やPTA授業参観、個人面談などは、お子さんの学校の様子を知ったり学校と家庭が連携したりすることにつながっていますか。	48	41	4	2	5
	【評価指標8】 様々な想定で行った避難訓練、登校指導やわらべ見守り隊活動、生徒指導だよりは、お子さんの安全や命を守るのに役立っていると思いますか。	52	46	2	0	0
	【評価指標7】 先生方はお子さんの困りごとや悩みに耳を傾け、すぐ対応してくれたり複数で関わってくれたりしていると思いますか。	50	35	4	2	9

	質問事項	4	3	2	1	0
職員	【評価指標7】 児童との面談の実施 ぬくもりカード・いじめアンケートの実施 保護者との面談、連携 職員による児童を語る会 生徒指導だよりの定期的な発行	31	69	0	0	0
	【評価指標8】 安全マップの活用 交通安全教室 避難訓練(地震・火災 不審者)の実施 登下校時における安全指導 わらべ見守り隊活動 情報モラルの指導 連絡メールを活用した安全に関わる連絡 子ども110番の家更新	23	77	0	0	0

イ 学校運営の状況

VI 組織運営

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校課題を明確にし、特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	・評価指標10のアンケートが児童・保護者・職員とも大変良好な結果である。ふるさと教育が充実していることがデータから分かる。 ・子どもたちが主体的に授業に向かっている姿や学習ルールが定着してきている様子が見られる。組織的に指導を進めている成果と捉える。 ・今後も小中連携して、地域のためにできることを頑張ろうとする姿勢を大切に育ててほしい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期(→年度)】 ◆1学期は、研究説明と提案授業に力を入れてきた。2学期は、大きな授業公開(市教研・全県大会)の研究を通して、研究の内容を深めていきたいと考えている。また、日々の授業実践に活用できるような実技研修やOJTを引き続き提案していきたい。 ◆担任の先生方の事前指導もあり、小中合同クリーンアップや町内奉仕活動などへの参加率が高かった。先生方自身が活動の意義を理解し、子どもたちの頑張りを価値付けていくことが大切だと感じた。小中連携して活動していることもこの地域の強みである。今後も地域の人と関わりながら、地域のために活動することができる子どもたちを育てていきたい。 ◆個人面談や機会あるごとに、各自の取組が学校教育目標具現化のためのどの部分を担っているのか確認することで、職員の参画意識を引き続き高めていきたい。会議等で示される事業計画等をしっかり周知させるため、会議の持ち方や“文書、声、掲示”での連絡を工夫していく。			
	【後期→(次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
9 職員研修	(13) 授業改善・研修の充実	主体的・対話的な学び、共感的・協働的な学び合いのある授業の工夫 必要感のある課題設定 校内研修の充実 共通実践事項の確認と実践	3	
10 ふるさとキャリア教育	(14) 「人、もの、こと」との積極的なかわり	町探検 各施設との交流 親子でチャレンジ体験の日(9月) ふるさと学習の日(祭典) 地域との関わり(ボランティア活動の充実)	3	
11 教職員の学校経営参画	(15) 明確な経営方針・施策の提示	各指導部の方針や重点施策の提示 各指導部の提案の共通理解と実践	3	
	(16) 特色ある教育課程の編成と実施	授業時数の確保と計画的な実施	3	

【評価指標9】職員研修 【評価指標10】ふるさとキャリア教育 【評価指標11】教職員の学校経営参画

【9・10・11のデータ】 ※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

	質問事項	4	3	2	1	0
児童	【評価指標9】 授業のとき自分の考えや意見を発表して伝え合ったり、学級のみんなと学び合ったりすることで、考える力や発表する力がついていますか。	66	23	9	2	0
	【評価指標10】 成章かがやきプロジェクトやボランティア活動などをとおして、自分が住んでいる地いきのことを考えたり、地いきのためにできることをがんばろうという気持ちをもったりしていますか。	68	25	4	2	2
	【評価指標9】 授業で考えを伝え合う活動や話し合ったりする活動を取り入れたり、集会等で表現活動を行ったりすることで、子どもたちは考える力や発表する力が付いてきていると思いますか。	43	52	4	0	0
	【評価指標10】 枝豆の栽培や枝豆商品開発をはじめ、奉仕活動やボランティア、地域に元気を届ける活動などは、ふるさとへの理解や関心を深め、地域の一員としての意識を育てるのに役立っていると思いますか。	57	37	7	0	0
	質問事項	4	3	2	1	0
職員	【評価指標9】 主体的・対話的な学び、共感的・協働的な学び合いのある授業の工夫 必要感のある課題設定 校内研修の充実 共通実践事項の確認と実践	23	54	23	0	0
	【評価指標10】 町探検 各施設との交流 親子でチャレンジ体験の日(9月) ふるさと学習の日(祭典) 地域との関わり(ボランティア活動の充実)	23	77	0	0	0
	【評価指標11】 各指導部の方針や重点施策の提示 各指導部の提案の共通理解と実践	23	77	0	0	0
	【評価指標11】 授業時数の確保と計画的な実施	31	69	0	0	0

イ 学校運営の状況

Ⅶ 保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取組が保護者や地域に浸透し、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	おおむね良好	良好	・地域や保護者の力を活用しながら職員の働き方改革を進めていこうとする姿勢が感じられる。 ・地域人材の活用は、児童が楽しんでいるので、続けてほしい。 ・架け橋プログラムの充実を目指す中で、今年度は保育園との交流も増えた。保小間の職員の連携も深まりを見せた。今後とも保小のスムーズな接続のための取組を継続してほしい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期(→年度)】 ◆作成ソフトの不具合もあり、HPの更新が遅れることがあった。今後は業者に依頼することにした。 ◆今年から町内掲示板にポスターを掲示し、各行事の詳細についての情報発信をした。PTA町内担当の活用が諮られると同時に、学校報と共に、学校の取組について広く周知することができたので継続していく。 ◆学校報に毎号「応援ボランティア大募集」掲載し、地域の人材活用を図った結果、学校行事への参加率が若干高くなった。地域コーディネーターに助言をもらいながら内容を工夫し継続する。 ◆小・中の連携は、教頭・教務主任同士が密に連絡を取り合い、奉仕活動などがより充実した形で行われた。保・小連携は、架け橋プログラムの更なる充実を目指して、保育園児の小学校体験、小学校職員の園訪問(研究会を含む)などを新たに行った。職員の負担増にならない配慮をしながら、各連携の更なる充実を図りたい。			
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
12 情報の受発信	(17) 定期的な情報の受発信	ホームページの定期的な更新 学校報・学年だより 校内掲示の工夫 タイムリーな情報発信 に関わる取組について	3	
13 地域の教育力の活用	(18) 地域人材の活用	地域コーディネーターの活用 行事や授業への協力要請 保・小・中連携 に関わる取組について	4	

【評価指標12】情報の受発信

【評価指標13】地域の教育力の活用

【12・13のデータ】 ※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

	質問事項	4	3	2	1	0
児童	【評価指標13】 学校行事、体験活動、正課クラブ、校外学習など、地いきの人たちやゲストティーチャーといっしょに、勉強したり活動したりするのは楽しいですか。	82	16	0	2	0

	質問事項	4	3	2	1	0
保護者	【評価指標12】 学校は、教育方針や活動、子どもたちの様子を、電話や連絡帳のほか様々な方法(学校報、学年だより、新聞やテレビ、ホームページなど)で保護者に伝え、保護者と連携して教育を行っていると思いますか。	41	52	2	2	2
	【評価指標13】 学校は、保育園や中学校と連携し、地域の方々・施設等と協力しながら教育活動を行っていると思いますか。	59	37	2	0	2

	質問事項	4	3	2	1	0
職員	【評価指標12】 ホームページの定期的な更新 学校報・学年だより 校内掲示の工夫 タイムリーな情報発信 に関わる取組について	31	62	8	0	0
	【評価指標13】 地域コーディネーターの活用 行事や授業への協力要請 保・小・中連携 に関わる取組について	38	62	0	0	0